

お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現すべく、サステナビリティ経営を進めています。

その高度化を図りながら、ステークホルダーの皆様との協働・対話を通じて、価値創造プロセスの継続的な改善に努め、創出価値の更なる拡大に向けた取組を推進しています。

→ Vision 2030 の実現

第5次中期経営計画による取組加速 P18

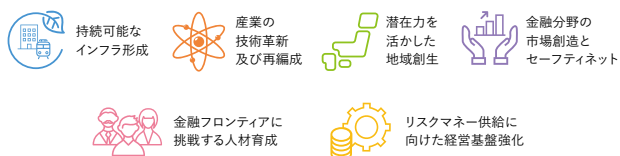
外部環境と社会課題 D.A.I.S: Digital, Aging, International, Sustainability

INPUT

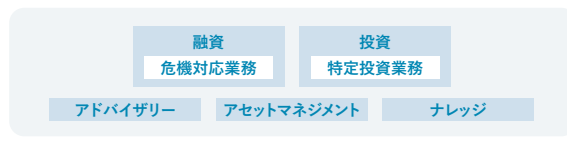
- 財務資本** P50
 - 自己信用調達
 - 政府信用調達
- 人的資本** P46
 - 価値観「挑戦」「誠実」
 - 4つのDNA「長期性」「中立性」「パブリックマインド」「信頼性」
 - エンゲージメント
- 知的資本** P57
 - 先駆的な金融力
 - サステナビリティ分野のフロントランナー
 - 調査・研究
- 関係資本** P58
 - 顧客基盤
 - 多様なステークホルダーとの連携・協働
 - グループ総合力
- 社会資本** P59
 - 自然環境
 - 社会的インフラストラクチャー
 - 制度資本

BUSINESS MODEL

マテリアリティ(経営上の重要課題) P24



注力する3つの重点領域



ガバナンス P62

OUTPUT / OUTCOME

事業の成果 2025年度目標(連結) P19

・業務粗利益	2,100億円程度
・当期純利益	850億円程度
・経費率	34%程度
・総資産	21兆円程度
・ROA	1%程度
・ROE	3%程度
・自己資本比率	14%程度 (普通株式等Tier1比率パーゼルIII最終化完全適用ベース)
・GRIT投融资(5年間累計概算)	5.5兆円

生まれる価値

- 持続可能な社会の構築 (2050年カーボンニュートラル含む) **G T**
- インフラ及びサプライチェーンの強靱化 **R**
- 新技術創出支援・共創イノベーションの実現 **I**
- エンゲージメントの向上 など

生まれる価値からバックキャスト

連携・協働

連携・協働

連携・協働

ステークホルダー・コミュニケーション P17

